（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などの雇用条件において差別をしない旨、社内に周知の上、個別面談等を通じて、差別事案が発生していないかどうかヒアリングするなど、経営トップが積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメント禁止を就業規則に明記、課管理職級の社員を中心に社外の人権研修・指導研修を受講、ハラスメント防止のための教育につとめている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正を踏まえ、労務士の指導のもと、長時間労働是正のため、労働生産性の改善、時間管理、残業時間の均等化、多様な働き方にマッチした勤務体制の整備・対応を行っているほか、有休の積極的取得を奨励している。 ・機械設備の導入による高生産性化を進め、労働時間の短縮に成果をあげているほか、製品の賞味期限延長に取り組むことで、製品の不良在庫化を防ぎ、仕事量を平均化することで、より計画的に労働時間を管理し、適正化する取り組みを進めている。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・受入機関と連携し、外国人技能実習制度技能実習生への適切な処遇や労働環境の整備を行っている。日本人との交流会の開催、指導担当者との交換ノート、人間関係の調整相談なども実施。外国人労働者が働きやすい、友好的な職場環境の整備に努めている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員に向け労働安全講習会を実施。安全衛生について就業規則に明記している			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・【予定】産業カウンセラー等の指導のもと、メンタルヘルスに関する方針と計画を策定する。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・会社として多様な人材が活躍できる目標を設定している。各人の意欲に合わせたキャリア・パスを提案、また、子育て世代のサポート、仕事にブランクのある女性の復帰支援を念頭に、短時間労働も含め、ワークライフ・バランスに配慮した労働環境の整備に取り組んでいる。 ・高齢者の雇用拡充：希望者は75歳まで全員継続雇用することを就業規則に明記している。 ・外国人技能実習生をはじめ、外国人労働者の受入を今後にわたって進めるために社内外で勉強に取り組んでおり、外国人労働者の雇用拡大につとめている。 ・管理職級の社員に占める女性の比率を高めるため、すでに積極的に女性社員を抜擢し、幹部教育を行なっている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割に応じて社員を研修等へ派遣、スキルや資格の取得をすすめるほか、社内の勉強会などを実施、能力開発、教育訓練の機会を提供している。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・【予定】パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を踏まえ、同一労働同一賃等の原則に沿った体 制の整備・対応を、労務士の指導のもとに行う。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	店舗・作業場・休憩室を禁煙とし、戸外に喫煙スペースを設けて、分煙の環境の整備している。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の種類・量など現状を把握するための台帳を整備している。 ・削減のための計画を策定している。											11.6	12		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・【予定】省エネ診断を実施し省エネ計画を策定する。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・【予定】温室効果ガスの排出量を把握し、削減するための計画を策定する。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令で規制されている有害化学物質等を把握し、使用量抑制のための計画を策定している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している ・【予定】事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、負の影響を削減するための計画を策定する。						6.6									15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・再利用可能な包材を使用しているほか、包装容器の簡略化、過重包装の削減に取り組んでいる。 ・【予定】ビニール袋の使用量をさらに削減してゆく												13		14.1			
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・水利用量を把握し使用量削減に取り組んでいる。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】エコアクション21の取得をめざす。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】HP等で環境情報を公開する。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光パネルを設置し、太陽光発電による再生可能エネルギーの利用を行なっている。							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・工場用材等における非合法材の使用の有無を施工業者に確認している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内 浸透を図っている。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を 実施している																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、商標等知的財産権の取得・管理している。 ・【予定】製品開発における特許侵害調査、商標の無断使用などの実態調査を実施する。ネット等での自社商品の不正取引などの実態把握、防止に努める。								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備している（HPにもプライバシーポリシーとして掲載）。 ・社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している。																16	
26		☑	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・当社は食品製造を業としており、鉱物の取り扱いがないため。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動にとりくみ、また、不正な商慣行の防止等について認識を共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品の製造工程において想定されるリスクの洗い出し、除去するための重要管理点をHACCPの基準で管理、各工程の作業手順と逸脱時の対応をマニュアル化している。 ・製品の使用方法を各包装、しおり等に記載、ユーザーが誤った使用を行なわないように注意を促している。 ・アレルゲンの表示対象範囲を明らかにし、製品に使用されているアレルゲンを各所に明記している。 ・「食品安全方針」を定め、HPでも公開している。			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からのクレーム対応のために、クレーム処理表を整備し、品質を保証する仕組みを構築している。 ・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールを策定、経営者、各部署の責任者で共有している。 ・【予定】ISO22000取得。									9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・不要な廃棄や食品ロスを削減するために、賞味期限の延長に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・高齢化社会に対応した、手軽で高品質な個食アイテムとしての商品設計を進めている。 ・【予定】アレルギーをもつ人でも食べることのできるグルテンフリー商品の開発。 ・【予定】社会の健康志向に応える無添加商品の開発。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域文化を継承する伝統食を観光銘品として商品化、広く県外、国外にアピールしている。 ・この分野のリーディング・カンパニーとして、安全で確かな品質の商品を提供すること、県関連のイベントへの積極的な参加などを通じて、社会的責任を果たしている。				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・伝統の郷土食「おやき」を通じた社会貢献活動に積極的に取り組んでいる（おやきづくり教室、工場見学、発表会、地域文化のアピールなど）。				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地域の食材を、製品の原材料として、積極的に活用している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化し、印刷物の形で社員に周知している。 ・経営者が理念を持ち、朝礼、ミーティング等の際に適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社内の回覧物や掲示等で法令順守（コンプライアンス）の重要性を全社員に向けて発信している。 ・コンプライアンス研修を実施している。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・企業活動の及ぼす影響について担当する責任役員を任命している。																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・消費者、地域社会、取引先、サプライヤー、自治体等、適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握するようつとめている。																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・HACCPプランを活用してリスクの洗い出し、評価を行った上で、重要管理点を定めてリスクを除外し、安全性を高める対策を講じている。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・当社のCSR方針の基づき、地域における雇用を維持しつつ、持続可能な企業活動を推進するために、高齢者・女性・外国人労働者など、幅広い人材を活用し、当社商品である伝統の郷土食「おやき」の普及を通じて、企業活動の発展と地域振興、社会的課題の解決に取り組んでいる。																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】BCPの策定。									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補（次期代表取締役）がいる。中堅社員の抜擢、会社全体の若返り化を通じて、次代を担う幹部社員を育成、成果を上げつつある。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）